

## 七飯町海外交流派遣研修報告書発行にあたって

七飯町とコンコード町は、1997年11月に姉妹都市提携の調印を交わしてから今年度で19年を迎えました。

そして、この海外交流派遣研修は今年度で22回目を迎え、10月26日から11月5日までの11日間、コンコード町に総勢14名（中学生5名、高校生3名、引率教員1名、一般町民3名、役場職員2名）で訪問してきました。

現地では、全員がホームステイをさせていただき、米国の文化や習慣を学びながら七飯町の魅力を紹介するなど、姉妹都市交流の目的を十二分に達成してきました。

生徒たちは七飯高校の姉妹校であるコンコードカーライル高校において、ホストファミリーと一緒に授業に参加してアメリカの学校生活を体験しただけではなく、折り紙や茶道などの日本文化を紹介したり、ラジオの生放送に挑戦する機会なども設けて頂きました。また、「若草物語」の舞台となったオーチャードハウスや、アメリカ独立戦争勃発の地であるオールドノースブリッジ、魔女狩りの街として有名なセーラム市などを訪れ、さらに、アメリカの一大イベントのひとつであるハロウィーンの仮装パーティーに参加するなど、普通の観光ではできない貴重な体験をしてきました。

将来を担う若者たちが自分の目や耳で直接体験することは計り知れないほど良い経験であり、生涯において大変貴重な財産になったことと思います。

町民代表につきましては、「人的・文化的・習慣的な交流を通じて相互理解を深める意欲があり、帰国後においても積極的に国際交流事業に協力できる町民を育成する」という目的へ立ち返り、町内在住のホストファミリー経験者3名を派遣しました。3人それぞれの職種に応じた視察行程を組んで頂き、現地の町民と直接意見交換ができたほか、文化や習慣の類似点や違いなどを学ぶことができました。

引率教員につきましても、コンコードカーライル高校にて日本の俳句についての授業をさせて頂いたほか、たくさんの授業を見学した中で、多くの教員との意見交換や懇談が実現できました。また、七飯高校とコンコードカーライル高校の交換留学についても、平成29年度からの実施に向けて大きく前進させることができました。

また、訪問団の旅程に合わせ、第10代国際交流員のクリス・ハウエルさんが二年間の任期を終えて退任・帰国し、第11代国際交流員のアンドリュー・クルーパさんが赴任しました。二人とも現地では訪問団に随行しサポートをするなど重要な役割を果たしました。アンドリューさんは現在、英会話講座の講師や七飯高校英語部での指導など、両町の交流の架け橋となって積極的に活躍しています。

最後になりますが、本事業の実施にあたりまして、様々な形でご協力くださいました各学校および保護者の皆様方、そして、心温まる受け入れをくださったコンコード町の皆様方に改めて厚くお礼を申し上げますとともに、2017年には両町の姉妹都市提携20周年という節目の年を迎えますので、皆様とともに記念式典を盛大にお祝いし、両町の友好と親善の絆をさらに深め、将来にわたり末永く継続していきたいと願っております。



七飯町長 中宮 安一